

令和5年度 百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議 事業計画

I 保存活用会議運営に係る総合調整【予算額 1,751 千円】

同会議を開催し、「資産等保存管理事業」や「来訪者対策事業」の取組方針、予算・等を審議・決定する。

また、大阪府及び地元3市の世界遺産、文化財、都市計画等の関係部署の職員からなる「資産専門部会」、「緩衝地帯専門部会」、「来訪者対策専門部会」の3つの専門部会を開催し、今後の百舌鳥・古市古墳群の保存管理の具体的な対応等について協議を行う。

II 資産等保存管理事業【予算額 8,393 千円】

世界遺産一覧表記載推薦書の付属資料としてユネスコに提出した「包括的保存管理計画」や、第43回世界遺産委員会における登録決議文の「追加的勧告」で求められた内容をふまえ、百舌鳥・古市古墳群の保存管理を適切に行う。

1 遺産影響評価（HIA）の実施

「追加的勧告」において、顕著な普遍的価値の保護と整合する史跡整備基本計画の完成、古墳群の価値に関わるすべての開発計画についての遺産影響評価実施が求められていることから、整備基本計画策定、羽曳野市庁舎建替え等について遺産影響評価を実施する。

2 モニタリングの実施

資産や緩衝地帯等の保存管理状況、来訪者への対応等についてモニタリング（経過観察）等により評価を行う（墳丘の構造的安定性の評価、古墳や周辺環境の写真による定点観測、来訪者数の把握等）。

III 来訪者対策・魅力発信事業【予算額 17,767 千円】

2025年大阪・関西万博の開催を見据え、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の価値や魅力を国内外に向けて発信する。

1 デジタルメディア活用事業の実施

令和3年度から実施している高精細PR映像を活用したターゲティング広告の取組みを継続しつつ、世界に多くのユーザーを持つ海外有力メディアが保有する媒体を活用したプロモーションを実施することにより、さらなる価値理解促進と現地への来訪を促す。

2 ホームページの運営

百舌鳥・古市古墳群の価値や魅力を多くの方々に知っていただくため、親しみやすく、わかりやすいホームページの運営に取り組む。

3 PR ツールの作成

百舌鳥・古市古墳群の世界遺産としての価値や魅力を伝える PR ツールの充実・作成を行う。

4 民間等連携事業・世界遺産学習会等の開催

民間企業等と連携・協力し、百舌鳥・古市古墳群の情報発信事業を実施する。また、府内市町村や学校と連携し、百舌鳥・古市古墳群や世界遺産に関する理解を深めていただくための学習会を開催する。